



岐阜市民病院
耳鼻咽喉科・頭頸部外科部長
(岐阜大学医学部附属病院臨床講師)

白戸 弘道氏
(しらと ひろみち)

平成10年国立インドネシア大学附属病院に
耳科手術指導のため派遣、帰国後岐阜市民病
院に赴任し現在に至る 耳鼻咽喉科学会専門
医、気管食道科学会専門医、騒音性難聴担当
医、専門は耳科手術、頭頸部外科手術
500-8513 岐阜市鹿島町7-1
Tel : 058-251-1101
Fax : 058-252-1335
e-mail : tkashizuka@gmhosp.gifu.gifu.jp

こんなとき どうしたら…？ Dr. からのアドバイス



耳鼻咽喉科（みみ・はな・のど）の病気あれこれ -最近のトピックス-

耳鼻咽喉科といえば、風邪や鼻炎を診てもらうところという印象が強いですが、最近では新たな現代人の病気も増えてきています。なかでも、いびきやめまいは直接命にかかわらないような気がしますが、実際にその病気になってみると心配でしかたがありません。また新スクについても解説していただきました。

Q いびきって気にしなくてよいですか。

A いびきはお酒を呑んだり、疲れたときには誰でもかくことが知られていますが、睡眠薬をのんだり、脳梗塞、脳出血などで意識障害が起こったときには特に大きないびきをかいたりします。また新幹線の運転手が運転中に居眠りしこの病気に罹患していたことで問題になった睡眠時無呼吸症候群という病気があり、たかがいびきと思っても無呼吸という状態が潜んでいることがあり、頻回の睡眠時無呼吸は心筋梗塞や脳出血などを起こしやすいたことが知られており侮ることはできません。

睡眠時無呼吸症候群は新生児や小児でもあり発育、夜尿症なども関係することがありますので無呼吸の頻度などを調べ治療が必要かどうか判断する必要があります。耳鼻咽喉科医や呼吸器科医などと相談されるのがよいでしょう。

Q めまいはどの科にかかったらよいのでしょうか。

A めまいは人間独特の感覚ですが、小さなこどもはめまいを訴えません。

また様々な病気が原因のことがありふらつく、こるびやすいという事で調べてみると脳腫瘍がみつかることもあります。耳鳴りや難聴、めまいを繰り返す病気にいわずゆるメニエル病という耳が原因のめまいがあります。これは耳鼻咽喉科で治療を行います。いわゆるメニエルと内科の先生が言われる状態はめまいと同義語と考えられているので支えありません。

厳密な意味でのメニエル病とは異なります。他にも貧血や血圧の異常からくるめまいやたちくらみ、更年期障害からくるめまいなどの様々な症状、うつ病などの精神科疾患からくるめまい、頸椎などの首の異常から来るめまいなど原因は多岐にわたります。ですからどの科に受診するかは難しいこともあります。耳鼻咽喉科を窓口にして当該科に受診するというのもひとつの方法でしょう。ただいくらか調べても原因がわからない場合もあります。

比較的多く耳鼻咽喉科で見受けられるのは耳のめまいで体のバランスをとるセンサーの不具合から

来るともいえる頭の特定の向きで起こるめまいです。ただ耳が原因のめまいは命にかかわることは少なく、初めてめまいを経験する方は脳出血や脳梗塞などの脳血管障害などを心配されますのでその不安を取り除くのも大事なことです。

Q 新スクって何？

A 新生児聴覚スクリーニングの略です。あまり知られていませんが赤ちゃんが生まれると今はすぐ聴力の検査を行うことができますようになります。岐阜市では特に力をいれておりスクリーニング検査はお産したところで通常は可能になってきています。問題があればさらに詳しい検査を耳鼻咽喉科医が行い、処置や治療、療育が必要かどうか調べますのでご相談ください。ちなみに2次精査機関は岐阜市では岐阜市民病院、岐阜市みやこ園付属診療所、岐阜大学医学部附属病院、県立岐阜医療センターです。